



Hermann Harp
JAPAN

ヘルマンハーブ

ドイツが贈る音楽のバリアフリー

日本ヘルマンハーブ振興会
会長 梶原 千沙都

ヘルマンハーブはドイツ・バイエルン州の農場主、ヘルマン・フェー氏によって1987年にダウン症の息子のために開発されたドイツ製ハンドメイドの弦楽器です。

ダウン症の息子に「メロディーを自分で演奏することのできる楽器を与えてあげたい」と願っていたヘルマン氏は、ヘルマンハーブの楽譜のシステムを考案します。そして、この楽譜を使った演奏システムと、息子の身体の特徴に合った新しい楽器、「ヘルマンハーブ」を開発しました。

2003年3月、私は日本人として初めてヘルマンハーブに出会いました。当時、私は夫の仕事の都合でウィーンに住んでいました。そして、2003年も暮れのクリスマスの頃、ドイツの教会でヘルマンハーブのコンサートを初めて聴きました。アンサンブルのメンバーを見ると、健常者も障がい者も、若者も高齢者も、男性も女性も、全員がヘルマンハーブをともに演奏しておられました。だれもが「ヘルマンハーブを奏でている自分が素敵だ」という確信に満ち、その顔は明るく輝いて見えました。

教会に響き渡る透明な音色の美しさ。私は、このように人の垣根を取り払ってしまうような素晴らしい楽器を、ダウン症の息子のために開発した、ヘルマン・フェー氏の親の心の偉大さに、声を失うほど感動しました。そして、この真実のお話にどれほど多くの方が励まされ、また、人生がどれほど豊かに変わることだろうと思いました。

2004年、私は楽器の開発者のご一家から日本でのヘルマンハーブの普及を一任され、これまでにないヘルマンハーブでの音楽事業を日本でスタートさせることになりました。そして今日本では、健常者も障がい者もそれぞれの思いや夢を託してヘルマンハーブを楽しむ世界が広がっています。

2012年、私は自ら開発した世界初のヘルマンハーブの奏法指導書「ヘルマンハーブの奏法〈基礎編〉」(梶原千沙都著)を音楽之友社から出版しました。それにより、ヘルマンハーブが単に「はじけば音でも弾ける楽器」であるだけでなく、芸術的な音楽表現のできる本物の弦楽器であることが広く知られるようになりました。ヘルマンハーブは誰が美しい音で奏することのできるバリアフリーな楽器であり、一方では、美しい音楽表現を目指して取り入れる奥深い楽器でもあるのです。

ヘルマンハーブは、一音弾いただけでもその美しさに感動を覚えます。ぜひ一度弾いてみてほしい曲、大好きな歌をヘルマンハーブで弾いてみましょう。ヘルマンハーブは私たちの人生に寄り添い、生活に豊かな彩りを与えてくれます。

ヘルマンハーブで「自らの美しい音に包まれる喜び」が、より多くの人に訪れるようにと願っております。

《プロフィール》 梶原千沙都 (かじわら ちさと)

1960年生まれ。奈良女子大学卒業。日本ヘルマンハーブ振興会会長。ヘルマンハーブの奏法開発者。2003年に当時在住中のヨーロッパで、日本人としてはじめてヘルマンハーブに出会い、ヘルマンハーブ開発者のヘルマン・フェー氏一族より日本での普及事業を一任される。ウィーンの施設で研修生として、ヘルマンハーブの知的障がい者への音楽療法的アプローチを学ぶ。2005年に振興会の前身である日本ヘルマンハーブ協会を設立。ヘルマンハーブの奏法や教授法の開発、全国でインストラクターの指導を行い、各地でヘルマンハーブのチャリティーコンサートや講習会を行っている。ソロ演奏ステージでの美しい弾き方と音楽表現は多くの観客を魅了し、ドイツ本国の指導者たちからも「現在、世界最高のヘルマンハーブ・ソロ奏者」の呼び声が高い。一方で、障がい者と健常者がともに演奏する「バリアフリーステージ」の活動を全国各地で行い、ヘルマンハーブの精神を通しての統合社会を目指している。著書に、「ヘルマンハーブの奏法〈基礎編〉」(音楽之友社刊)や準拠DVDなど。CDに「会えるそのときまで」(2008)や「バリアフリーの花〜ヘルマンハーブ・サウンド〜」(2013)、シングルCD「会えるそのときまで」(2014)がある。2014年、初のソロリサイタル開催。産経新聞厚生文化事業団評議員。家族は夫と二人の娘。



ヘルマンハーブ開発者 ヘルマン・フェー氏と日本ヘルマンハーブ振興会会長 梶原千沙都

SAMPLE

日本ヘルマンハーブ振興会

ヘルマンハーブによる音楽のバリアフリーを通して、やすらぎと和やかさに満ちた世界平和の創造に貢献する。



ドイツのコンサート
ヘルマンハーブの開発者、ヘルマン・フェー氏と息子さんが開催するドイツの演奏会



大学でのセミナー
2016 幼児教育を学ぶ学生さんたち。ヘルマンハーブに興味いっぱい



10周年コンサート
ヘルマンハーブ演奏発表会のフィナーレ(兵庫県立芸術文化センター大ホール)



教会でのコンサート
教会での愛好家のコンサート。施設・病院・幼稚園などイベント活動は多岐に広がっている。



家庭での楽しみ
ヘルマンハーブゆつたりと楽しむお茶のひと時



千代田区賀詞交換会
2016年オープニングを飾るヘルマンハーブちよだの演奏

全
て
の
人
に
捧
げ
る
本
物
の
音
色



幼稚園
ヘルマンハーブの演奏をBGMに紙芝居を聴く園児たち。ヘルマンハーブのボランティアが活躍しています



ボランティア活動
被災地いわき市でのワークショップ。ヘルマンハーブを弾く子供たちの笑顔。



ヘルマンハーブ教室
全国のカルチャー教室でもヘルマンハーブ講座を開講しています



障がい者の演奏グループ
病院・施設へ慰問演奏に向くグループも増えてきました。



日独友好
ドイツ統一記念日のレセプションで、ヘルマンハーブの芸術性をドイツ関係者に披露。



世界初のリサイタル
東京・大阪・福岡で梶原千沙都が開催

日本ヘルマンハーブ振興会

Hermannharpn Association of Japan

〒662-0084 兵庫県西宮市樋之池町2番33-201号
2-33-201, Hinoike-cho, Nishinomiya-City, Hyogo, Japan, # 662-0084
tel.0798-61-9953 fax.0798-61-9952
http://www.hermannharp.com e-mail(TEL) info@hermannharp.com